



私たちの湘南御行会だより

湘南御行会発行

令和2年11月1日225号

お赤飯をお届けしました

10月の会報でお知らせしたお赤飯に羊羹をプラスして、10月22日皆様にお届けしました。味わっていただけましたか？当日は役員一同10時に樋口さん宅に集合し役員会を開催、10時半玉屋さんから社長自らの運転で赤飯が到着、早速班ごとに配分し、昼飯時に間に合うようにとお届けに向かいました。今年は活動らしい活動がなされていませんでしたから、役員は少し肩の荷が下りた気が致しました。依然と終りの見えないコロナ禍。これからの活動も見通しが利きませんが皆様ご自愛ください。他の地域の老人クラブに聞きますと何処でも活動が出来ないで困っているようです。湘南御行会も新しい何かを探しているのですが中々見つかりません。せめて会報だけでも毎月お届けしようと思います。毎号登場する加藤さんと岩田、喜寿を迎えました（ゴメン加藤さん内緒でしたか？）「喜寿は若手」の老人クラブですが、二人ともフットワークは十分で皆様のご意見を記事に反映させようと思います。後述する、川柳・俳句・思い出話し、エッセイなどお寄せください。お声が掛ければお伺いします。 加藤・岩田

市役所の銀杏（いちょう）の木

市老連の事務所が、6月に藤沢市場の近くから藤沢市役所分庁舎に移転しました。皆様には余り関係ないことかも知れませんが、情報通信部会に所属している私は、近くなり喜んでます。分庁舎の入り口に大きな銀杏の木が有ります。10月はこの銀杏の実がぼたぼたと落ちてくる時です。往来する人が踏みつける為あの独特の臭いがまん延しています。係の職員が定期的に清掃していますが、とても追いつかない状況でした。銀杏の木から皆さん何を思い浮かべますか？鶴岡八幡宮の隠れ銀杏？東京都のシンボル？等様々かと思えます。子供の頃学校には桜の木と並んで大概大きな銀杏の木が有りました。小学1年の秋、先生から、イチョウの葉を100枚拾いなさいと言われ、集めた思い出が有ります。その時感じた事は100枚拾うのは大変では何と大きな数だろう！と言う事で、今考えれば数の大小を身を持って体験させた授業であった気がします。生きた教育だったのかなあ。銀杏の実「ギンナン」はあの臭い皮から想像できない美味しさです。栄養価も高く、焼いて酒の肴、茶わん蒸しの友、と様々です。転勤で関西に住んでいた頃、大阪の御堂筋でギンナンを拾い焼いて食べた記憶も有ります。銀杏は大阪の木と聞いた事が有りましたが、今でもギンナンはひろえるのかなあ？いよいよ熱燗とギンナンが似合う季節になりました。薄皮を剥いて食べるギンナンはたまりませんね。コロナを忘れて、熱燗、熱燗。 何故か今月は次ページ桑の実と、木の実の話が続きます 岩田

市役所分庁舎入り口、銀杏のある風景



桑の実のお話

平成 28 年 9 月発行 175 号で「童謡赤とんぼ」の話を書きました。当時の会報をお持ちの方はご覧ください。赤トンボは作詞者の三木露風が幼いころ「姐や」との思い出を綴った歌詞です。姐やと一緒に行動した思い出の中に「山の畑のクワの実を子籠に摘んだは幻か」と言いうくだりが有ります。皆さん「クワの実」をご存知ですか？桑の木に実る赤色の果実です、桑の木の本業は生糸を生み出す蚕（かいこ）を育てる唯一の植物です。パンダが食べる笹のような存在です。蚕の育成から生糸の生産に至る養蚕業、かつては日本の主要産業でした。「かいこ」はクワを食べて成長して繭（まゆ）となり紡いで生糸。やがては高価な絹織物となります。かつて長野県は養蚕が盛んな県でした。中でも私の故郷佐久地方は養蚕が盛んで、最盛期には畑のいたるところに桑の木が植えられていました。養蚕家は生糸を生む蚕を「おかいこさん」と敬語を付け呼んでいました。正に蚕は富を生み出す金の（絹の）卵でした。やがて養蚕は化学繊維の台頭で衰退し今は見る影も有りません。残念です。話変わりますが佐久地方ではクワの実の事を「めど」と言います。この「めど」甘くて美味しいので甘味の少ない時代、貴重なおやつでした。子供たちは野球帽と呼んだ帽子に摘んだメドを入れて食べながら歩きました。甘いので時々蟻が混じっていたことも度々。でも気にもなりません。熟れた「めど」は赤から紫に変化、果汁でシャツが紫色に染まり、洗濯しても落ちない！とよく母に叱られました。露風の気持ちを拝借すれば「山の畑のクワの実をおシャツにつけて叱られた」です。養蚕の桑は姿を消していきましたが、最近近所でも桑の木を見かけるようになりました。食の本ではマルベリーと洒落た名前でも栄養価高い、果実と紹介されています。果樹酒にも用いられるようです。思いで深い桑の木を先日「菅井さん」の庭から分けて頂きました。2メートル越えの大きな木です。既に数年を経過した桑の木は毎年実を付けているとのこと、来年の夏が楽しみです。実ったら収穫し是非野球帽に入れてみたいと、今から楽しみです。食べると絹のような光沢がある滑らかな肌になること請け合いです。 岩田

川 柳

「体重計首をひねってまた量る」

これは市老連会報誌「ゆめクラブ藤沢」95 号の川柳に掲載された、会員田中邦彦さんの句です。田中さんは毎号、応募しユニークな句を披露しています。最近テレビでは俳句に関する番組が多く NHK だけでなく民放でもバライティーとして登場し高視聴率を上げています。俳句と同じ五・七・五の 17 文字で詠う川柳は気軽に入りやすい短詩として広く親しまれています。その歴史、発祥は古く江戸時代です。俳句には季語、切れ字、余韻を残す、等々決まりが有りますが、川柳はそれらに縛られず、自由に思いついた事をユーモア、皮肉、自嘲（じちょう）、世相、を自由に表現できる良さが有ります（田中さんこの言い方間違えていませんよね？）機会が有れば田中さんにコツを教えてくださいたいと思います。私も駄作を披露「初スマホ可愛い孫が鬼軍曹」スマホの使い方を聞いたら孫娘の口から、今教えたばかりじゃん！ 退屈な毎日、生活の中で見知したことを五・七・五で表現して見ませんか？ けっこう楽しいです。岩田

編集後記

早いものでカレンダーも残り 2 枚となりました。コロナ、コロナの毎日ですが、時間は正確、来月はもう師走です。今年は恒例の町内会餅つきも中止との事で寂しい限り。ゴーツーキャンペーンが色々企画されています。年配者には少し敷居が高いかも知れませんが、頑張っって挑戦して見ましょう。

藤沢市のプレミアム商品券買いましたか？ 岩田

今後の主な行事予定

- ◎11 月 15 日（日）8 時クリーンキャンペーン
- ◎11 月 26 日（木）御行会役員会 場所は後報
- ◎11 月 18 日（水）片老連役員会
- ◎ 毎週水曜日 8 時 30 分 グランドゴルフ